

平成 24 年度 第 8 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 24 年 10 月 29 日（月）17:05～17:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1：「三重県職員人づくり基本方針」（中間案）について

【喜多人事課長】（資料 1 に基づき説明）

ワーキンググループ（以下「WG」）案をベースに事務局で検討している。

新たな人材育成の体系として、OJT を最も重要な柱と位置づけ、人事組織、職場環境、研修等を連携させ、組織全体で人材育成に取り組んでいくこととしている。

【小林南部地域活性化局長】

今の職員には係長、課長補佐というイメージがわからないのではないかと危惧している。新たに課長補佐等に昇任する職員にはその点も踏まえて研修をしていただきたい。

【喜多人事課長】

人づくり基本方針と併せて新しい研修体系の検討もしており、ご指摘の点を踏まえ考えていきたい。

【山口スポーツ推進局長】

人材育成とは直接関係無いが、仕事のスピード感を上げるためフラット化したのが、今後新たな職を置いた場合、スピード感をどう求めるかが課題であると思うがどうか。

【喜多人事課長】

新たな職も増えることで、ご指摘のように仕事の進め方について、スピード感を失わないような方策を検討していきたい。

【藤本地域連携部長】

県庁職員だけで研修やOJT するのではなく、企業でいう異業種交流のような、積極的に外部に出る機会を保障する職場環境作りが必要ではないか。

【喜多人事課長】

ご指摘に対して十分ではないが、人事制度のところで外部組織との人事交流の推進を掲げており、研修体系の見直しの中で外部の方や市町職員との合同研修なども検討中である。

【藤本地域連携部長】

民間の人たちとの研究会や勉強会などに積極的に出してあげる、情報提供してあげる、内々にこもらない。まったく違うところに出す機会が必要で、それ

を保障することが大事である。

【北岡健康福祉部長】

「礼節を重んじ」とあるが、あえてこの言葉を入れた意味は。

【鈴木知事】

「礼節を重んじ」と指定はしていないが、趣旨は私が入れてほしいと言った。

行政はサービス業なのでホスピタリティを持ちなさいとよく言われるが、いきなりは無理なので、（ディズニーランドを運営する）オリエンタルランドの人材育成を参考に、ホスピタリティに行く前に、まずは礼儀正しくすること（Courtesy）が大切であるということからである。

表現については、また議論していただきたい。

【石垣副知事】

課長補佐級のベテラン職員とあるが、あえて課長補佐級と入れた理由は。

【喜多人事課長】

課長補佐級の職員層が今後増えていくことを課題としたためである。

【鈴木知事】

先日のコンプライアンス研修の内容も記載されているのでよく見ておいてもらいたい。まだ中間案で今後ブラッシュアップしていくが、組織全体に浸透させていく必要があるので一人一人が理解してもらうようにしていただきたい。

部局長級の研修がないので、企業が行っているような視野を広げるハードな研修をやってはどうかという話をした。育成は若い人だけではないということで、腹積もりをしておいてもらいたい。

藤本部長が言われた、組織の枠から離れて違う人たちと価値観をぶつけ合うことは、人間として厚みが出てくると思うので重要である。

【山川雇用経済部長】

コンプライアンスの確立について権限委譲が欠けているのではないかとフラット制導入時に権限を下ろしたが、組織の中で段階を追ってないと判断ミスがあると思う。どこまで下ろすかという議論をもう一度しないと、判断する者が幼稚では、また判断ミスをする。複合のチェック、判断が出来るような仕組みも併せて検討していただきたい。

議題2：「政策を推進するための新たな仕組み」（中間案）について

【森行財政改革推進課長】（資料2に基づき説明）

9月4日の本部員会議でWG案について共有させていただいた。

サイクルの図表等は添付していないが、分かりやすいものとなるよう現在検討中である。

【藤本地域連携部長】

サイクルの図表については従前のものと対比したものにしていただきたい。

【鈴木知事】

オールインワンシステムに成否がかかっている。以前1つにしようとチャレンジしてうまくいかなかった反省をよく踏まえて、このオールインワンシステムができれば他県でも成功事例は無いと思うので、是非がんばっていただきたい。

議題3：MIE 職員力 アワードの募集方法・日程について

【森行財政改革推進課長】（資料3に基づき説明）

9月4日の本部員会議において率先実行大賞の見直しということで議論いただいた。11月12日から応募を開始し、2月1日に発表する。

運営については実行委員会方式で、現在、各部局の新規採用職員22名に協力いただき、内容等検討している。

【鈴木知事】

各部局でも応募を積極的に促していただきたい。

【森行財政改革推進課長】

議題1, 2については、11月1日の三重県行財政改革専門委員会においてご意見をいただく予定である。